



## 2026年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社デジタルプラス

上場取引所

東

コード番号 3691

URL <https://digital-plus.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 菊池 誠晃

問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0

（氏名） 加藤 涼

（TEL） 03-5465-0690

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第1四半期	332	39.4	24	188.9	7	186.9	8	—	10	—	9	—
2025年9月期第1四半期	238	17.5	8	△23.2	2	△95.7	△9	—	△12	—	△8	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2026年9月期第1四半期	2	45	2	41
2025年9月期第1四半期	△3	02	△3	02

## （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	％
2026年9月期第1四半期	3,489		936		860	24.7
2025年9月期	3,331		921		843	25.3

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2025年 9 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年 9 月期	—				
2026年 9 月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益	
	百万円	％	百万円	％
通期	1,721	84.4	200	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年9月期1Q	4,458,067株	2025年9月期	4,456,867株
2026年9月期1Q	100,242株	2025年9月期	100,242株
2026年9月期1Q	4,357,433株	2025年9月期1Q	4,063,264株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(事業セグメント) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の子会社）が判断したものであります。

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調が見られました。一方で、円安の進行による物価上昇の影響や海外経済の減速懸念、地政学的リスクの長期化及び為替動向の変動などにより、景気の先行きには依然として不確実な要素が続いております。また、人口減少を背景とした労働生産性の向上が引き続き重要な課題となっております。

当社グループの注力事業であるフィンテック領域においては、キャッシュレス決済の浸透やデジタル給与払いの解禁を契機として、市場の関心が一層高まっております。さらに、暗号資産やステーブルコイン等の新たなデジタルマネーに対する注目も集まっており、「お金の送り方・受け取り方」そのものが変化する局面を迎えております。これらの流れを背景に、今後もフィンテック市場は持続的に拡大していくものと当社は考えております。

このような状況において、当社グループは、デジタルギフト®や資金移動業に対応したデジタルウォレットを中心に展開する「フィンテック事業」、メディア運営を中心に行っている「デジタルマーケティング事業」の2つの事業を中心に展開をしております。

フィンテック事業においては、前連結会計年度において完了した「フィンテックフォーカス」への体制転換を踏まえ、当第1四半期連結累計期間においては、流通総額の拡大およびサービス基盤の強化に注力いたしました。具体的には、株主優待をはじめとした法人向けデジタルギフト®の提案強化に加え、各種PAYサービスやデジタル資産との連携を進めることで、多様化する「お金の受け取り方」に対応したサービス提供を推進しております。

当社グループは、マーケティング（広告）領域、人材領域、そして支払のDX（金融）領域の3つを注力領域として掲げ、3万円以下の対個人向け支払分野におけるシェア拡大を目指しております。「デジタルマーケティング事業」においては、既存事業のメディア運営を進めております。

当連結会計年度においても、「フィンテック事業」、「デジタルマーケティング事業」の2つのセグメントを中心とし、特に「フィンテック事業」においては2028年9月期に目標として掲げている流通総額1,000億円の達成に向け、事業推進を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は332,844千円（前年同四半期比39.4%増）、営業利益は24,559千円（前年同四半期比188.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は10,680千円（前年同四半期親会社の所有者に帰属する四半期損失は12,268千円）となりました。

#### a. フィンテック事業

国内のキャッシュレス化の浸透、在宅ワークの拡大、副業解禁などにより個人の稼ぎ方がより多様化する社会的背景の中で、現金以上に価値のあるポイントが利用できる報酬支払インフラの構築を目指して事業を運営してまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、引き続き流通総額の増加に注力した結果、流通総額の四半期累計額が約50億円となり、23四半期連続成長を達成することができました。

以上の結果、フィンテック事業の売上収益は331,966千円（前年同四半期比68.0%増）、セグメント利益は133,775千円（前年同四半期比62.6%増）となりました。

#### b. デジタルマーケティング事業

既存事業のメディア運営を展開してまいりました。

以上の結果、デジタルマーケティング事業の売上収益は877千円（前年同四半期比97.9%減）、セグメント損失6,313千円（前年同四半期セグメント利益は20,712千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、154,346千円増加し、2,833,302千円となりました。これは主として、現金及び現金同等物が272,328千円減少、および営業債権及びその他の債権が409,389千円増加したことによるものであります。

非流動資産は、前連結会計年度末に比べて、3,417千円増加し、655,994千円となりました。これは主として、無形資産が7,528千円増加、および使用権資産が5,814千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて、157,764千円増加し、3,489,297千円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、155,411千円増加し、2,387,988千円となりました。これは主として、営業債務及びその他の債務が160,535千円増加、借入金が70,000千円増加、およびその他の流動負債が42,406千円減少したことによるものであります。

非流動負債は、前連結会計年度末に比べて、12,834千円減少し、164,925千円となりました。これは主として、借入金が6,668千円減少、およびリース負債が6,241千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、142,576千円増加し、2,552,913千円となりました。

## (資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べて、15,187千円増加し、936,383千円となりました。これは主として、利益剰余金の増加10,680千円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて272,328千円減少し、840,659千円(前年同四半期は587,437千円)となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は312,604千円(前年同四半期は137,391千円の使用)となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の増加額409,389千円、営業債務及びその他の債務の増加額158,514千円、その他の負債の減少額42,406千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は21,563千円(前年同四半期は33,890千円の使用)となりました。これは主に、無形資産の取得による支出21,563千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は61,491千円(前年同四半期は43,499千円の使用)となりました。これは主に、短期借入の純増額による支出70,000千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,112,987	840,659
営業債権及びその他の債権	1,310,028	1,719,417
棚卸資産	158,553	152,364
未収法人所得税	13,738	13,740
その他の金融資産	20,000	20,000
その他の流動資産	63,648	87,120
流動資産合計	2,678,956	2,833,302
非流動資産		
有形固定資産	15,911	15,077
使用権資産	55,622	49,808
のれん	196,512	196,512
無形資産	236,744	244,272
その他の金融資産	109,067	110,162
繰延税金資産	38,599	40,042
その他の非流動資産	118	118
非流動資産合計	652,576	655,994
資産合計	3,331,533	3,489,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	531,646	692,181
借入金	1,170,008	1,240,008
未払法人所得税	30,319	—
引当金	3,220	320
リース負債	32,333	32,835
その他の流動負債	465,048	422,642
流動負債合計	2,232,577	2,387,988
非流動負債		
借入金	133,320	126,652
引当金	17,108	17,136
リース負債	23,541	17,300
繰延税金負債	2,189	2,236
その他の金融負債	1,600	1,600
非流動負債合計	177,760	164,925
負債合計	2,410,337	2,552,913
資本		
資本金	13,745	14,237
資本剰余金	666,169	671,858
利益剰余金	347,890	358,570
自己株式	△82,072	△82,072
その他の資本の構成要素	△102,554	△102,441
親会社の所有者に帰属する持分合計	843,177	860,152
非支配持分	78,018	76,230
資本合計	921,195	936,383
負債及び資本合計	3,331,533	3,489,297

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	238,795	332,844
売上原価	46,351	43,194
売上総利益	192,443	289,649
販売費及び一般管理費	200,681	260,610
その他の収益	16,901	2
その他の費用	163	4,481
営業利益	8,500	24,559
金融収益	3,190	1,452
金融費用	9,150	18,723
税引前四半期利益	2,540	7,288
法人所得税費用	12,395	△1,603
四半期利益 (△損失)	△9,855	8,892
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△12,268	10,680
非支配持分	2,412	△1,787
四半期利益 (△損失)	△9,855	8,892
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△3.02	2.45
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△3.02	2.41



## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益(△損失)	△9,855	8,892
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	1,322	113
その他の包括利益合計	1,322	113
四半期包括利益	△8,532	9,005
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△10,945	10,793
非支配持分	2,412	△1,787
四半期包括利益	△8,532	9,005

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
期首残高	125,489	1,841,222	△1,063,077	△81,982	△101,374	720,277	96,812	817,090
四半期利益(△損失)	—	—	△12,268	—	—	△12,268	2,412	△9,855
その他の包括利益	—	—	—	—	1,322	1,322	—	1,322
四半期包括利益	—	—	△12,268	—	1,322	△10,945	2,412	△8,532
新株の発行	25,000	25,000	—	—	—	50,000	—	50,000
新株予約権の取得及び消却	—	△755	—	—	—	△755	—	△755
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△2,450	△2,450
所有者との取引額等合計	25,000	24,245	—	—	—	49,245	△2,450	46,794
四半期末残高	150,489	1,865,467	△1,075,346	△81,982	△100,051	758,576	96,775	855,352

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
期首残高	13,745	666,169	347,890	△82,072	△102,554	843,177	78,018	921,195
四半期利益(△損失)	—	—	10,680	—	—	10,680	△1,787	8,892
その他の包括利益	—	—	—	—	113	113	—	113
四半期包括利益	—	—	10,680	—	113	10,793	△1,787	9,005
新株予約権の発行	—	5,282	—	—	—	5,282	—	5,282
新株予約権の行使	492	406	—	—	—	898	—	898
所有者との取引額等合計	492	5,689	—	—	—	6,181	—	6,181
四半期末残高	14,237	671,858	358,570	△82,072	△102,441	860,152	76,230	936,383

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,540	7,288
減価償却費及び償却費	8,968	22,820
金融収益及び金融費用	5,960	17,271
その他の費用	—	182
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,965	6,188
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△82,855	△409,389
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,591	△24,262
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	61,436	158,514
その他の負債の増減額(△は減少)	△94,085	△42,406
引当金の増減額(△は減少)	△2,548	△2,900
小計	△100,209	△266,691
利息の受取額	319	328
利息の支払額	△5,463	△15,919
法人所得税の支払額	△32,038	△30,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137,391	△312,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,672	—
無形資産の取得による支出	△30,218	△21,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,890	△21,563
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,196	70,000
長期借入金の返済による支出	△33,571	△6,668
リース負債の返済による支出	△7,976	△8,022
新株予約権の発行による収入	—	5,282
新株予約権の取得による支出	△755	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,499	61,491
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,000	348
現金及び現金同等物の減少額	△213,780	△272,328
現金及び現金同等物の期首残高	801,217	1,112,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	587,437	840,659

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (事業セグメント)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各事業の概要は以下のとおりであります。

フィンテック事業：「デジタルウォレット（資金移動業対応を含む）」、「デジタルギフト®」、メンタルヘルス「マヒナ」の運営、オンライン家庭教師「ピース」の運営、システム基盤の基礎技術の発展、ビットコインで用いられているブロックチェーン等の新技術の応用、投資などの金融領域への事業展開、ファクタリング

デジタルマーケティング事業：オウンド・メディアの運営、アライアンス・メディアの運営

## (2) 報告セグメントの情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
	フィンテック 事業	デジタルマーケ ティング事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	197,632	41,163	238,795	—	238,795
セグメント間の売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—
合計	197,632	41,163	238,795	—	238,795
セグメント利益	82,296	20,712	103,009	△94,509	8,500
金融収益	—	—	—	—	3,190
金融費用	—	—	—	—	9,150
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,540

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
	フィンテック 事業	デジタルマーケ ティング事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	331,966	877	332,844	—	332,844
セグメント間の売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—
合計	331,966	877	332,844	—	332,844
セグメント利益 (△損失)	133,775	△6,313	127,462	△102,902	24,559
金融収益	—	—	—	—	1,452
金融費用	—	—	—	—	18,723
税引前四半期利益	—	—	—	—	7,288

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。